

平成29年度の管理運営状況（東京武道館）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等												
管理状況	適切な管理の履行	施設の提供について	「武道振興の拠点」として、質の高い大会開催と成功に貢献 ・全国大会などの多様な大規模武道大会をより多く開催できるよう調整 ・主催者と開催前に密な打合せを実施し、円滑な大会運営に向けてサポート												
		施設・設備の保守点検	安全・安心、快適な利用に向けて取組 ・各道場の床について、利用前後の点検や定期点検等を行い、損傷が見られた場合は研磨やパテ等で補修。損傷が著しい箇所は床面貼替を実施。また、畳敷きの道場についても毎日、除菌の処置を施し、清潔を維持している。 ・館内スタッフによる連絡会や施設見回りを定期的に行い、情報共有と修繕等の検討を実施												
利用状況	個人利用者数		3年連続で過去最高の利用者数を更新 ・約1ヶ月の工事休館にもかかわらず、前年度よりも高い利用実績 ・利用者増を図るための取組が効果を発揮 毎時の利用状況をツイッター配信(平成25年7月～) Tシャツ、短パン等のレンタル(平成25年9月～) 恒久的磁器式ポイントカード導入(平成27年3月～) レディースデー企画(平成29年5月～7月) この他、施設内の横断幕の設置や、近隣住宅への継続的な新聞折込チラシの配布等を実施 トレーニングルーム 個人利用者数の推移(無料利用者を含む。) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>51,052</td> <td>57,709</td> <td>66,062</td> <td>69,013</td> <td>69,330</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年間利用者数	51,052	57,709	66,062	69,013	69,330
		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度								
年間利用者数	51,052	57,709	66,062	69,013	69,330										
団体利用率		昨年度と同水準の稼働率を維持 ・優先受付での綿密な利用日調整、大規模大会の開催 ・定期的利用団体に施設空き情報を発信し、継続的な利用を促進 ・平日利用が想定される学校運動部活動、チーム・サークル等への継続的なPR 大武道場 稼働率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>80.5%</td> <td>81.8%</td> <td>85.4%</td> <td>87.3%</td> <td>86.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	稼働率(%)	80.5%	81.8%	85.4%	87.3%	86.8%	
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度										
稼働率(%)	80.5%	81.8%	85.4%	87.3%	86.8%										
事業効果	事業の取組み	スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況	計画に基づき着実に実施し、武道・スポーツの普及振興に貢献 ①スポーツ振興事業……33事業 ・武道系部活動合同稽古等の青少年向け武道稽古、働き盛り世代向けの武道稽古、子供や高齢者等の武道体験、各種武道の指導者育成など、武道に親しむことができる機会を提供 ②自主事業 ・有名選手指導者ふれあい事業を実施し、武道、伝統文化に親しむ機会を提供 ・スタジオプログラム(40メニュー、1,332回実施)を展開し、スポーツ実施率の向上に寄与 ③体育の日記念事業……延べ9,000人を超える参加者実績 ・子供の武道体験など多彩な体験機会を提供し、広く武道・スポーツに親しむ機会を提供 ・柔道金メダリスト、空手道特別ゲストによる指導や演武披露、パラリンピック種目の体験、写真パネル展示等を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に寄与 ・広報の強化(チラシ作成枚数増加)、コンテンツの充実(広場にてふわふわを設置等)、スペシャルゲストによる盛り上げ等により、昨年度より130%超の参加者数を記録												
		サービス向上に向けた取組	①中央ホールに武具(剣道)を展示し、武道への興味・関心を喚起(4月) ②バレーボール用支柱の更新(8月) ③弓道場のコンセントを増設し、暖房器具使用時の容量を確保(11月) ④トレーニングルームにおけるマシンの全面更新(1月)及びシューズロッカーの増設(2月)												
		利用者ニーズの把握	多様な方法でニーズを把握し、業務改善に取組 ・利用者満足度調査結果 9割超が満足と高評価 ・大会主催団体等との利用者懇談会や日常的な意見収集によりニーズを把握し、改善に取組 ・利用者からの意見・要望とそれらに対する回答を館内に掲示												
		その他	東京都施工の電気設備等改修工事(平成29年12月11日から平成30年1月5日まで全館休館)において、利用者への周知を適切に行った(館内掲示、ウェブサイト等)。												